



証券コード: 4523

2026年度（2027年3月期）
第1四半期決算

参考資料

2026年8月3日
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部: TEL 03-3817-5120

IR部: TEL 03-3817-5122

<https://www.eisai.co.jp/>

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、各国の関税政策変更、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクや不確実性の詳細に関しては、当社の前期有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。ただし、当該記載は当社グループに係るすべてのリスクや不確実性を網羅したものではなく、現時点において予見できない、あるいは重要とみなされていない他の要因の影響を将来的に受ける可能性があります。また、当該記載は本発表日現在において判断したものであり、文中の将来に関する事項はその発生あるいは達成を保証するものではありません。

目 次

1. 連結損益計算書	1
2. 営業利益からコア営業利益への調整	2
3. セグメント情報	2
4. 報告セグメント別情報	3
5. 主力品売上収益	7
6. 連結包括利益計算書	8
7. 連結キャッシュ・フロー計算書	9
8. 資本的支出及び減価償却費の状況	10
9. 連結財政状態計算書	10
10. 連結四半期業績の推移	12
11. 主要開発品	15

為替レート

		米国 (米ドル／円)	欧州 (ユーロ／円)	英国 (ポンド／円)	中国 (人民元／円)
2025年度 第1四半期	期中平均レート	144.59	163.79	193.01	19.99
	期末日レート	144.81	169.66	198.56	20.19
2025年度 通期	期中平均レート	150.77	174.78	202.10	21.24
	期末日レート	159.88	183.41	211.03	23.11
2026年度 第1四半期	期中平均レート	159.49	185.39	213.96	23.43
	期末日レート	162.39	185.35	215.05	23.87
2026年度	予想レート	153.00	180.00	205.00	22.50

- ・ 当社の連結財務諸表はIFRS会計基準にて開示しています。
- ・ 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス（北米）、中国、EMEA（欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア）、イーストアジア・グローバルサウス（EAGS：韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等）の5つの事業セグメントを報告セグメントとしています。
- ・ 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

1. 連結損益計算書

(億円、%)

	2025年度				2026年度						
	1Q実績	売上比	通期実績	売上比	1Q実績	売上比	増減率	増減額	通期予想	売上比	進捗率
売上収益	2,027	100.0	8,254	100.0	2,343	100.0	15.6	317	8,835	100.0	26.5
医薬品事業 売上収益	1,984	97.9	8,108	98.2	2,309	98.5	16.4	325	8,700	98.5	26.5
その他事業 売上収益	42	2.1	146	1.8	34	1.5	△18.4	△8	135	1.5	25.4
売上原価	426	21.0	1,912	23.2	511	21.8	19.9	85	2,095	23.7	24.4
売上総利益	1,601	79.0	6,342	76.8	1,832	78.2	14.5	232	6,740	76.3	27.2
販売費及び一般管理費	1,002	49.4	4,353	52.7	1,148	49.0	14.6	147	4,415	50.0	26.0
販売費	541	26.7	2,300	27.9	650	27.7	20.2	109	—	—	—
人件費	309	15.2	1,359	16.5	329	14.0	6.5	20	—	—	—
管理費他	152	7.5	694	8.4	169	7.2	11.4	17	—	—	—
研究開発費	388	19.1	1,587	19.2	437	18.7	12.7	49	1,640	18.6	26.7
その他の損益	△4	△0.2	39	0.5	0	0.0	—	4	15	0.2	1.8
営業利益	207	10.2	441	5.3	247	10.6	19.2	40	700	7.9	35.3
コア営業利益(参考情報)	217	10.7	501	6.1	247	10.6	13.9	30	700	7.9	35.3
金融損益	17	0.8	69	0.8	6	0.2	△66.6	△11	—	—	—
税引前四半期(当期)利益	224	11.1	510	6.2	253	10.8	12.8	29	740	8.4	34.2
法人所得税	71	3.5	105	1.3	61	2.6	△13.2	△9	—	—	—
四半期(当期)利益	153	7.6	405	4.9	192	8.2	24.9	38	540	6.1	35.5
四半期(当期)利益の帰属											
親会社所有者	145	7.1	386	4.7	182	7.8	26.0	38	523	5.9	34.9
非支配持分	9	0.4	20	0.2	9	0.4	5.4	0	—	—	—
四半期(当期)包括利益	111	5.5	1,053	12.8	312	13.3	181.7	201			

EPS(円)	51.35	136.78	64.71	185.00
DPS(円)	—	160.0	—	160.0
ROE(%)	—	4.4	—	5.9
調整ROIC(%) (参考情報)	—	6.8	—	8.7

- ・前年同期からの増減率を示しています。
- ・コア営業利益：営業利益から一過性の収益・費用を除外した本質的な収益力を示す指標。営業利益からの調整内容は2ページをご覧ください。
- ・EPS：基本的1株当たり四半期(当期)利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率
- ・調整ROIC(Return on Invested Capital)：税引後コア営業利益÷(親会社所有者帰属持分(除く為替換算差額)＋純有利子負債)

<コメント>

■売上収益	・抗がん剤「レンビマ」、アルツハイマー病治療剤「レケンビ」および不眠症治療剤「デエビゴ」が引き続き伸長したことに加え、円安の進行の影響により大幅に増加
■販売費及び一般管理費	・「レケンビ」への積極的な資源投入により増加 ・米メルク社へ支払う「レンビマ」の折半利益を費用計上：当期 443億円、前年同期 360億円
■研究開発費	・「レケンビ」や抗MTBRタウ抗体「E2814」、新規選択的オレキシン2受容体作動薬「E2086」などの重要プロジェクトへの積極的な資源投入を継続したことにより増加 ・アライアンスパートナー負担額：当期 60億円、前年同期 76億円
■為替による影響額	・売上収益：＋189.2億円、営業利益：＋13.8億円
■為替感応度 (1円の円安に対しての年間影響額)	・売上収益：米ドル ＋21.4億円、ユーロ ＋2.6億円、英ポンド ＋0.5億円、人民元 ＋70.9億円 ・営業利益：米ドル △5.2億円、ユーロ ＋0.8億円、英ポンド △0.8億円、人民元 ＋40.1億円

2. 営業利益からコア営業利益への調整

(億円、%)

	2025年度 1Q実績	2026年度 1Q実績	増減率	増減額
営業利益	207	247	19.2	40
(+) 事業再編に伴う解雇給付費用	10	—	—	△10
コア営業利益	217	247	13.9	30

・前年同期からの増減率を示しています。

・2025年度の事業再編に伴う解雇給付には欧州を中心とした構造改革に伴う解雇給付費用を含みます。

3. セグメント情報

1) 売上収益

(億円、%)

	2025年度		2026年度						
	1Q実績	通期実績	1Q実績	構成比	増減率	為替影響 除く 増減率	通期予想	構成比	進捗率
医薬品事業(報告セグメント)計	1,984	8,108	2,309	98.5	16.4	6.9	8,700	98.5	26.5
日本 医薬品事業	560	2,292	579	24.7	3.4	3.4	2,335	26.4	24.8
アメリカス 医薬品事業	708	3,004	866	36.9	22.3	10.9	3,370	38.1	25.7
米国	689	2,906	838	35.7	21.6	10.3	3,240	36.7	25.8
中国 医薬品事業	365	1,307	425	18.1	16.6	△0.3	1,470	16.6	28.9
EMEA 医薬品事業	190	815	236	10.1	24.4	8.7	730	8.3	32.4
EAGS 医薬品事業	161	688	202	8.6	25.3	16.2	795	9.0	25.4
その他事業	42	146	34	1.5	△18.4	△22.9	135	1.5	25.4
連結売上収益	2,027	8,254	2,343	100.0	15.6	6.3	8,835	100.0	26.5

・外部顧客に対する売上収益を示しています。

・前年同期からの増減率を示しています。

2) セグメント利益

(億円、%)

	2025年度		2026年度				
	1Q実績	通期実績	1Q実績	構成比	利益率	増減率	為替影響 除く 増減率
医薬品事業(報告セグメント)計	953	3,673	1,161	98.9	50.3	21.7	11.6
日本 医薬品事業	194	730	210	17.9	36.3	8.1	8.1
アメリカス 医薬品事業	415	1,744	519	44.3	60.0	25.0	14.6
中国 医薬品事業	179	593	212	18.1	49.8	18.2	△1.3
EMEA 医薬品事業	82	304	125	10.6	52.7	51.8	39.7
EAGS 医薬品事業	82	302	95	8.1	46.9	15.0	4.0
その他事業	22	45	13	1.1	36.5	△44.0	△38.7
研究開発費	△342	△1,384	△389	—	—	13.6	7.2
親会社の本社管理費等	△426	△1,893	△537	—	—	26.1	12.0
連結営業利益	207	441	247	—	10.6	19.2	12.5

・パートナーとの戦略的提携に伴う利益および費用の折半金額を親会社の本社管理費等を含めています。

4. 報告セグメント別情報

1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2025年度		2026年度			
	1Q実績	通期実績	1Q実績	増減率	通期予想	進捗率
売上収益	560	2,292	579	3.4	2,335	24.8
医療用医薬品	506	2,067	527	4.1	2,110	25.0
一般用医薬品等	54	225	52	△3.5	225	23.2
セグメント利益	194	730	210	8.1	—	—
日本 医療用医薬品 主力品売上収益						
不眠症治療剤 デエビゴ	110	465	124	13.4	485	25.7
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	55	244	61	10.9	330	18.4
ヤススキナーゼ阻害剤 ジセレカ	43	184	54	25.2	190	28.2
抗がん剤 レンビマ	36	141	37	3.0	135	27.3
慢性便秘症治療剤 モビコール*	21	87	30	48.3	171	17.8
慢性便秘症治療剤 グーフイス*	22	88	26	18.2	90	28.4
末梢性神経障害治療剤 メチコバール	21	86	23	12.3	84	27.6
抗てんかん剤 フィコンパ	21	82	22	5.8	65	34.1
分岐鎖アミノ酸製剤 リーバクト*	18	68	19	6.4	62	31.2
パーキンソン病治療剤 エクフィナ	18	69	19	8.1	70	27.4
成分栄養剤 エレンタール*	18	70	18	△0.4	63	28.7
日本 一般用医薬品等 主力品売上収益						
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	38	159	39	1.1	165	23.4

・前年同期からの増減率を示しています。

* EAファーマの取り扱い製品です。

2)アメリカス 医薬品事業(北米)

(億円、%)

	2025年度		2026年度			
	1Q実績	通期実績	1Q実績	増減率	通期予想	進捗率
売上収益	708	3,004	866	22.3 <10.9>	3,370	25.7
米国	689	2,906	838	21.6 <10.3>	3,240	25.8
セグメント利益	415	1,744	519	25.0 <14.6>	—	—
アメリカス 主力品売上収益						
抗がん剤 レンビマ	581	2,372	665	14.5 <3.8>	2,425	27.4
米国	574	2,342	657	14.6	—	—
(百万米ドル)	(397)	(1,554)	(412)	<3.9>	(—)	<—>
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	91	446	155	70.5 <54.6>	775	20.0
米国	91	446	154	69.5	—	—
(百万米ドル)	(63)	(296)	(97)	<53.6>	(—)	<—>
不眠症治療剤 デエビゴ	19	105	33	74.5 <58.1>	135	24.2
米国	7	42	14	93.3	—	—
(百万米ドル)	(5)	(28)	(9)	<75.3>	(—)	<—>

・前年同期からの増減率を示しています。

・増減率の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

3)中国 医薬品事業

(億円、%)

	2025年度		2026年度			
	1Q実績	通期実績	1Q実績	増減率	通期予想	進捗率
売上収益	365	1,307	425	16.6 <△0.3>	1,470	28.9
セグメント利益	179	593	212	18.2 <△1.3>	—	—
中国 主力品売上収益						
抗がん剤 レンビマ	69	250	68	△0.9 <△15.2>	260	26.2
めまい・平衡障害治療剤 メリスロン	31	125	51	67.1 <△42.6>	—	—
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	77	124	48	△37.3 <△46.4>	190	25.3
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	29	126	37	27.7 <9.1>	—	—
筋弛緩改善剤 ミオナール	23	75	31	33.7 <14.1>	—	—
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	22	99	30	38.2 <17.9>	—	—
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	24	88	29	23.1 <5.1>	—	—
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー／グリチロン錠	18	79	22	21.3 <3.5>	—	—
抗てんかん剤 フィコンパ	14	53	18	32.9 <13.6>	—	—
不眠症治療剤 デエビゴ	1	27	14	1779.1 <1510.8>	45	31.2

・前年同期からの増減率を示しています。

・増減率の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・中国における2025年度1Qのレケンビの売上収益は、代理店が在庫を積み増した影響を含みます。

4) EMEA 医薬品事業(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)

(億円、%)

	2025年度		2026年度			
	1Q実績	通期実績	1Q実績	増減率	通期予想	進捗率
売上収益	190	815	236	24.4 <8.7>	730	32.4
セグメント利益	82	304	125	51.8 <39.7>	—	—
EMEA 主力品売上収益						
抗がん剤 レンビマ/Kispalyx	110	492	151	36.6 <18.5>	455	33.1
抗てんかん剤 フィコンパ	40	173	48	18.3 <3.9>	—	—
不眠症治療剤 デエビゴ	2	13	6	217.3 <168.4>	—	—
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	1	16	5	341.2 <275.0>	—	—

・前年同期からの増減率を示しています。

・増減率の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) イーストアジア・グローバルサウス(EAGS) 医薬品事業(韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等)

(億円、%)

	2025年度		2026年度			
	1Q実績	通期実績	1Q実績	増減率	通期予想	進捗率
売上収益	161	688	202	25.3 <16.2>	795	25.4
セグメント利益	82	302	95	15.0 <4.0>	—	—
EAGS 主力品売上収益						
抗がん剤 レンビマ	43	171	52	20.3 <7.7>	175	29.9
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	37	146	36	△4.0 <△8.6>	—	—
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	8	50	24	214.0 <201.3>	115	20.8
不眠症治療剤 デエビゴ	6	34	12	95.1 <78.7>	55	21.6
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	8	42	12	41.6 <32.7>	—	—
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	10	40	12	15.8 <9.1>	—	—
抗がん剤 ハラヴェン	9	35	9	△2.5 <△12.8>	—	—
抗てんかん剤 フィコンパ	6	23	6	5.3 <△1.3>	—	—

・前年同期からの増減率を示しています。

・増減率の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5. 主力品売上収益

(億円、%)

	2025年度		2026年度			
	1Q実績	通期実績	1Q実績	増減率	通期予想	進捗率
主力品(3L)合計	1,207	4,948	1,455	20.5 <9.9>	5,620	25.9
レンビマ/Kisplyx(抗がん剤)	839	3,425	973	15.9 <4.3>	3,450	28.2
日本	36	141	37	3.0	135	27.3
アメリカス	581	2,372	665	14.5 <3.8>	2,425	27.4
中国	69	250	68	△0.9 <△15.2>	260	26.2
EMEA	110	492	151	36.6 <18.5>	455	33.1
EAGS	43	171	52	20.3 <7.7>	175	29.9
レケンビ(アルツハイマー病治療剤)	231	880	293	26.7 <16.7>	1,435	20.4
日本	55	244	61	10.9	330	18.4
アメリカス	91	446	155	70.5 <54.6>	775	20.0
中国	77	124	48	△37.3 <△46.4>	190	25.3
EMEA	1	16	5	341.2 <275.0>	—	—
EAGS	8	50	24	214.0 <201.3>	115	20.8
デエビゴ(不眠症治療剤)	137	643	189	37.9 <32.8>	735	25.8
日本	110	465	124	13.4	485	25.7
アメリカス	19	105	33	74.5 <58.1>	135	24.2
中国	1	27	14	1779.1 <1510.8>	45	31.2
EMEA	2	13	6	217.3 <168.4>	—	—
EAGS	6	34	12	95.1 <78.7>	55	21.6

・前年同期からの増減率を示しています。

・増減率の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・3L: LENVIMA、LEQEMBI、DAYVIGO (lemborexant)

・中国における2025年度1Qのレケンビの売上収益は、代理店が在庫を積み増した影響を含みます。

6. 連結包括利益計算書

(億円、%)

	2025年度		2026年度		
	1Q実績	通期実績	1Q実績	増減率	増減額
四半期(当期)利益	153	405	192	24.9	38
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	30	45	△23	—	△54
確定給付制度に係る再測定	—	12	—	—	—
小計	30	56	△23	—	△54
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	△73	592	144	—	217
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△0	△1	△0	—	△0
小計	△73	591	144	—	217
その他の包括利益合計	△43	647	120	—	163
四半期(当期)包括利益	111	1,053	312	181.7	201
四半期(当期)包括利益の帰属					
親会社所有者	102	1,032	303	196.3	200
非支配持分	9	20	9	7.3	1

・前年同期からの増減率を示しています。

7. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2025年度 1Q実績	2026年度 1Q実績	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益	224	253	29
減価償却費及び償却費	97	94	△3
減損損失	13	—	△13
運転資本の増減額(△は増加)	△260	△297	△38
利息及び配当金の受取額	21	20	△1
利息の支払額	△9	△12	△3
法人所得税の支払額	△43	△67	△24
その他	△32	△16	17
営業活動によるキャッシュ・フロー	11	△26	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△45	△43	3
無形資産の取得による支出	△26	△10	16
有形固定資産・無形資産の売却による収入	1	19	18
子会社の取得による支出	△126	—	126
金融資産の取得による支出	△2	△10	△8
金融資産の売却・償還による収入	105	109	4
小計<資本的支出等(キャッシュベース)>	△93	66	159
3カ月超預金の預入による支出	△0	—	0
3カ月超預金の払戻による収入	0	—	△0
その他	△0	△2	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94	65	158
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額(△は減少)	517	340	△177
社債の発行及び長期借入れによる収入	—	500	500
社債の償還及び長期借入金の返済	△0	△0	—
リース負債の返済による支出	△26	△28	△2
配当金の支払額	△226	△226	0
その他	△4	△8	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	261	579	318
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	45	25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	198	663	465
現金及び現金同等物の期首残高	2,656	2,454	△201
現金及び現金同等物の期末残高	2,854	3,117	264

フリー・キャッシュ・フロー	△82	40	123
---------------	-----	----	-----

・フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

<コメント>

■営業活動によるキャッシュ・フロー 売掛金や「レケンビ」等の棚卸資産が増加したことにより、運転資本が増加 ■投資活動によるキャッシュ・フロー 主に金融資産の売却による収入が発生 ■財務活動によるキャッシュ・フロー 配当金の支払いを実施した一方で、社債および短期借入金が増加
--

8. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2025年度		2026年度		
	1Q実績	通期実績	1Q実績	増減額	通期予想
資本的支出額(キャッシュベース)	71	412	52	△19	300
有形固定資産	45	154	43	△3	—
無形資産	26	258	10	△16	—
減価償却費及び償却費	97	395	94	△3	375
有形固定資産	55	225	57	2	—
無形資産	42	171	37	△5	—

9. 連結財政状態計算書

<資産の部>

(億円、%)

	2025年度		2026年度			
	3月末	構成比	6月末	構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,610	11.1	1,597	10.3	99.2	△13
のれん	2,592	17.9	2,632	16.9	101.5	40
無形資産	881	6.1	856	5.5	97.2	△25
その他の金融資産	624	4.3	502	3.2	80.4	△122
その他	87	0.6	86	0.6	99.4	△0
繰延税金資産	1,080	7.5	1,078	6.9	99.7	△3
非流動資産合計	6,875	47.4	6,751	43.3	98.2	△124
流動資産						
棚卸資産	2,575	17.8	2,820	18.1	109.5	245
営業債権及びその他の債権	2,270	15.7	2,531	16.2	111.5	261
その他の金融資産	9	0.1	16	0.1	176.6	7
その他	308	2.1	346	2.2	112.3	38
現金及び現金同等物	2,454	16.9	3,117	20.0	127.0	663
流動資産合計	7,616	52.6	8,830	56.7	115.9	1,214
資産合計	14,491	100.0	15,581	100.0	107.5	1,090

<コメント>

■資産の部

(その他の金融資産－非流動)	金融資産の売却による減少
(棚卸資産)	「レケンビ」等の生産を進めたことなどによる在庫の増加
(営業債権及びその他の債権)	売上収益の増加に伴う売掛金の増加

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2025年度		2026年度			
	3月末	構成比	6月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	3.1	450	2.9	100.0	—
資本剰余金	743	5.1	742	4.8	99.8	△1
自己株式	△423	△2.9	△423	△2.7	100.0	△0
利益剰余金	5,109	35.3	5,043	32.4	98.7	△67
その他の資本の構成要素	3,111	21.5	3,254	20.9	104.6	144
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,990	62.0	9,066	58.2	100.8	76
非支配持分	261	1.8	266	1.7	101.8	5
資本合計	9,251	63.8	9,332	59.9	100.9	80
負債						
非流動負債						
社債及び借入金	1,348	9.3	1,846	11.8	137.0	498
その他の金融負債	338	2.3	336	2.2	99.4	△2
引当金	16	0.1	16	0.1	99.7	△0
その他	119	0.8	95	0.6	80.1	△24
繰延税金負債	17	0.1	20	0.1	117.4	3
非流動負債合計	1,837	12.7	2,313	14.8	125.9	475
流動負債						
社債及び借入金	513	3.5	867	5.6	169.1	354
営業債務及びその他の債務	759	5.2	875	5.6	115.3	116
その他の金融負債	163	1.1	221	1.4	135.9	58
未払法人所得税	67	0.5	62	0.4	93.1	△5
引当金	466	3.2	519	3.3	111.2	52
その他	1,435	9.9	1,392	8.9	97.0	△43
流動負債合計	3,403	23.5	3,936	25.3	115.7	534
負債合計	5,240	36.2	6,249	40.1	119.3	1,009
資本及び負債合計	14,491	100.0	15,581	100.0	107.5	1,090

<コメント>

■資本の部

(その他の資本の構成要素) 為替の影響による在外営業活動体の換算差額の増加

■負債の部

(社債及び借入金－非流動) 社債の発行による増加

(社債及び借入金－流動) 短期借入金の増加

(営業債務及びその他の債務) 主に買掛金の増加

10. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円、%)

	2025年度				2026年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	増減率
売上収益	2,027	1,974	2,199	2,054	2,343	15.6
売上原価	426	455	511	520	511	19.9
売上総利益	1,601	1,518	1,689	1,534	1,832	14.5
販売費及び一般管理費	1,002	1,039	1,117	1,195	1,148	14.6
販売費	541	565	608	586	650	20.2
人件費	309	313	329	408	329	6.5
管理費他	152	160	180	202	169	11.4
研究開発費	388	367	392	439	437	12.7
その他の損益	△4	24	21	△3	0	—
営業利益	207	137	200	△103	247	19.2
金融損益	17	9	20	24	6	△66.6
税引前四半期利益	224	145	220	△79	253	12.8
法人所得税	71	40	42	△47	61	△13.2
四半期利益	153	105	178	△32	192	24.9
四半期利益の帰属						
親会社所有者	145	102	172	△32	182	26.0
非支配持分	9	4	7	1	9	5.4
四半期包括利益	111	263	585	95	312	181.7
EPS(円)	51.35	36.03	60.94	△11.53	64.71	26.0

・前年同四半期からの増減率を示しています。

・EPS:基本的1株当たり四半期利益

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2025年度				2026年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	11	212	350	41	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94	△35	△13	△276	65
財務活動によるキャッシュ・フロー	261	△62	△319	△491	579
現金及び現金同等物の期末残高	2,854	3,016	3,194	2,454	3,117
フリー・キャッシュ・フロー	△82	179	336	△236	40

・フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

3) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2025年度				2026年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
資本的支出額(キャッシュベース)	71	37	39	264	52
有形固定資産	45	25	33	50	43
無形資産	26	13	6	214	10
減価償却費及び償却費	97	98	101	100	94
有形固定資産	55	55	57	57	57
無形資産	42	43	43	42	37

4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2025年度				2026年度
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
資産	14,096	14,380	14,862	14,491	15,581
資本	8,535	8,798	9,157	9,251	9,332
親会社の所有者に帰属する持分	8,285	8,544	8,896	8,990	9,066
負債	5,561	5,582	5,706	5,240	6,249
社債及び借入金	2,389	2,367	2,310	1,861	2,713
親会社所有者帰属持分比率(%)	58.8	59.4	59.9	62.0	58.2
負債比率(Net DER/倍)	△0.08	△0.10	△0.12	△0.09	△0.05

・負債比率(Net DER)＝(有利子負債(借入金)－現金及び現金同等物－3カ月超預金等－親会社保有投資有価証券)÷親会社の所有者に帰属する持分

5)主力品売上収益の四半期推移

(億円、%)

	2025年度				2026年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	増減率
主力品(3L)合計	1,207	1,160	1,309	1,272	1,455	20.5
レンビマ/Kispplx	839	826	916	844	973	15.9
日本	36	35	37	33	37	3.0
アメリカス	581	564	641	586	665	14.5
中国	69	58	66	58	68	△0.9
EMEA	110	121	132	129	151	36.6
EAGS	43	49	40	38	52	20.3
レケンビ	231	180	207	262	293	26.7
日本	55	62	62	65	61	10.9
アメリカス	91	102	119	134	155	70.5
中国	77	2	4	40	48	△37.3
EMEA	1	2	7	5	5	341.2
EAGS	8	11	14	17	24	214.0
デエビゴ	137	154	186	166	189	37.9
日本	110	111	132	112	124	13.4
アメリカス	19	23	30	33	33	74.5
中国	1	10	12	4	14	1779.1
EMEA	2	3	3	5	6	217.3
EAGS	6	8	9	11	12	95.1

・前年同四半期からの増減率を示しています。

・3L: LENVIMA、LEQEMBI、DAYVIGO (lemborexant)

・中国における2025年度1Qのレケンビの売上収益は、代理店が在庫を積み増した影響を含みます。

11. 主要開発品

NCT: ClinicalTrials.gov の識別番号、jRCT: Japan Registry of Clinical Trials の識別番号
日: 日本、米: 米国、欧: 欧州、中: 中国、P: Phase (臨床試験段階)
◎: 2026 年 4 月以降の進捗

(1) 神経

開発品コード: BAN2401 一般名: レカネマブ 製品名: レケンビ		導入品 (BioArctic)	
薬効／作用機序: アルツハイマー病治療剤／抗 $A\beta$ プロトフィブリル抗体		注射剤 (点滴静注・皮下注射)	
[概要] アミロイドベータ($A\beta$)の可溶性(プロトフィブリル)および不溶性凝集体に対するヒト化 IgG1 モノクローナル抗体で、アルツハイマー病 (AD) の進行を抑制し、認知機能と日常生活機能の低下を遅らせます。早期 AD に係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなどの 53 の国と地域で承認を取得し、6 カ国で承認申請中です。点滴静注による維持療法について、米国、中国など 8 カ国で承認を取得し、12 の国と地域で申請中です。皮下注オートインジェクター (SC-AI) に関して、維持療法 (360mg) は米国で承認を取得しています。SC-AI による初期療法 (500mg) については、2026 年 7 月に米国で承認を取得し、日本、中国など 4 カ国で承認申請中です。中国では、優先審査の指定を受けています。なお、米国における SC-AI は、LEQEMBI IQLIK の製品名で発売しています。Biogen と共同開発を行っています。			
早期 AD 点滴静注維持療法 (用法用量追加)		欧州 (EU)	申請 (2026 年 1 月受理)
201/301 試験	NCT01767311/NCT03887455		
早期 AD 皮下注射製剤初期療法 (500mg)		米国 日本 中国	◎ 承認 (2026 年 7 月) 申請 (2025 年 11 月) 申請 (2026 年 1 月受理)
301 試験	NCT03887455		
プレクリニカル AD (効能効果追加)		日米欧	PⅢ
303 試験 (AHEAD 3-45)	NCT04468659		

開発品コード: E2006 一般名: レンボレキサント 製品名: デエビゴ			自社品	
薬効／作用機序: 不眠症治療剤／オレキシン受容体拮抗剤			経口剤	
[概要] 睡眠と覚醒の調整に関与するオレキシンの受容体に拮抗し、覚醒を抑制することで、速やかな入眠と睡眠維持をもたらすことが期待されます。不眠症に係る適応で、日本、米国、中国、アジアなどにおいて承認を取得しています。				
不眠症		英国 欧州 (EU)	◎ ◎	申請 (2026 年 6 月受理)
303/304 試験	NCT02952820/NCT02783729			申請 (2026 年 7 月受理)

開発品コード: E2814 一般名: etalanetug		共同創出品(ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)	
薬効／作用機序: 抗 MTBR タウ抗体		注射剤	
[概要] 当社とユニバーシティ・カレッジ・ロンドンとの共同研究を通じて見出された抗微小管結合領域(Microtubule binding region: MTBR)タウ抗体です。タウ伝播種の脳内拡散を抑制することを期待しています。顕性遺伝アルツハイマーネットワーク試験ユニット(DIAN-TU)が実施する臨床試験(フェーズⅡ/Ⅲ試験 Tau NexGen)において、抗タウ薬として最初の評価対象薬に選定されました。2025 年 9 月、米国 FDA よりファストトラックの指定を受領しました。			
顕性遺伝 AD(レカネマブとの併用療法)		日米欧	PⅡ/Ⅲ
Tau NexGen 試験	NCT05269394		
孤発性早期 AD(レカネマブとの併用療法)		日米	PⅡ
202 試験	NCT06602258		

開発品コード:EA8001 一般名:evenamide		導入品 (Newron)	
薬効／作用機序:グルタミン酸の過剰放出モジュレーター		経口剤	
[概要] 選択的に電位依存性ナトリウムチャネルを遮断することで、グルタミン酸の過剰放出を正常化します。EA ファーマが、日本およびその他のアジア地域における開発・製造および販売に関する権利を取得し、開発を行っています。			
抗精神病薬 2 剤以上に対して不応又は効果不十分な統合失調症		日本	PⅢ
CT1 試験	jRCT2031250620		

開発品コード: E2086 一般名: ledasorexton		自社品	
薬効／作用機序: オレキシン 2 受容体作動薬		経口剤	
[概要] 当社独自のオレキシンプラットフォームを活用し創製された選択的オレキシン 2 受容体作動薬で、日中の過度の眠気や情動脱力発作などを改善することを期待しています。2026 年 2 月、厚生労働省より希少疾病用医薬品(オーファンドラッグ)に指定されました。			
ナルコレプシー		日米欧中	PⅡ
202 試験	NCT07493265		

開発品コード: E2511		自社品	
薬効／作用機序: TrkA 統合シナプス再生剤		経口剤	
AD		米国	PⅠ

開発品コード: E2025		自社品	
薬効／作用機序: 抗 EphA4 抗体		注射剤	
AD		米国	PⅠ

(2)がん

開発品コード: E7080 一般名: レンパチニブ 製品名: レンビマ		自社品	
薬効／作用機序: 抗がん剤／キナーゼ阻害剤		経口剤	
[概要] 血管内皮増殖因子受容体(VEGFR)である VEGFR1、VEGFR2、VEGFR3 や線維芽細胞増殖因子受容体(FGFR)の FGFR1、FGFR2、FGFR3、FGFR4に加え、血小板由来増殖因子受容体(PDGFR)の PDGFR α 、KIT、RET などの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に関与する受容体型チロシンキナーゼに対する選択的阻害活性を有する、経口投与可能な自社創製のマルチキナーゼ阻害剤です。単剤療法として、甲状腺がんおよび肝細胞がん(ファーストライン)に係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなどにおいて承認を取得しており、胸腺がんに係る適応で、日本、アジアにおいて承認を取得しています。エベロリムスとの併用療法では、腎細胞がん(セカンドライン)に係る適応で、米国、欧州、アジアなどにおいて承認を取得しています。ペムブロリズマブとの併用療法では、腎細胞がん(ファーストライン)に係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて承認を取得しており、子宮内膜がん(全身療法後)に係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて承認(一部の条件付き承認の国を含む)を取得しています。なお、欧州における腎細胞がんに係る適応においては、Kisplyx の製品名で発売しています。Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA(米メルク社)と共同開発を行っています。			
経口低酸素誘導因子 2 アルファ阻害剤ベルズチファンとの併用療法 米メルク社と共同開発(効能効果追加)			
腎細胞がん		米国	申請(2026 年 1 月受理) 申請(2026 年 3 月)
LITESPARK-011	NCT04586231	日本	

開発品コード: E7389 一般名: エリブリン 製品名: ハラヴェン			自社品	
薬効／作用機序: 抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤			注射剤	
[概要] クロイツカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。日本、米国、欧州、中国、アジアなどにおいて乳がんに係る適応で承認を取得しています。また、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて脂肪肉腫(日本では悪性軟部腫瘍)に係る適応で承認を取得しています。				
単剤療法(剤形追加)				
リポソーム製剤		日欧		P I
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法 小野薬品と共同開発(剤形追加)				
リポソーム製剤		日本		P I b/ II
120 試験	NCT04078295			

開発品コード: E7090 一般名: タスルグラチニブ 製品名: タスフィゴ			自社品
薬効／作用機序: 抗がん剤／FGFR1、FGFR2、FGFR3 阻害剤			経口剤
[概要] 経口投与可能な線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR1、FGFR2、FGFR3) 選択的チロシンキナーゼ阻害剤です。日本において、胆道がんに係る適応で承認を取得しています。			
乳がん	日本		P I b

開発品コード: E7860 一般名: タレトレクチニブ		導入品 (Nuvation Bio)		
薬効／作用機序: 抗がん剤／ROS1 阻害剤		経口剤		
[概要] ROS1 陽性非小細胞肺癌 (NSCLC) 治療における次世代の経口 ROS1 高選択的チロシンキナーゼ阻害剤です。2026 年 1 月に Nuvation Bio から欧州、中東、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、フィリピン、インドネシア、タイ、マレーシア、ベトナム、インドにおける独占的開発、薬事、商業化の権利を取得しました。米国、中国、日本においては、進行 ROS1 陽性 NSCLC に係る適応で承認されています。				
非小細胞肺癌 (ROS1 陽性)		欧州 (EU)	◎	申請 (2026 年 3 月受理)
TRUST-I/II	NCT04395677/NCT04919811	英国		申請 (2026 年 6 月受理)

開発品コード: MORAb-202 一般名: farletuzumab ecteribulin (FZEC)		自社品	
薬効／作用機序: 抗がん剤／葉酸受容体 α をターゲットとする抗体薬物複合体 (ADC)		注射剤	
[概要] 抗葉酸受容体 α 抗体と既に承認されている抗がん剤エリブリンを、リンカーを介して結合した ADC です。腫瘍部位にエリブリンを集中させ、葉酸受容体 α 陽性の卵巣がん、腹膜がん、卵管がんなどへの治療効果を期待しています。2024 年 6 月、Bristol Myers Squibb とのグローバルな共同開発・共同販促契約を終結し、当社単独でのグローバル開発・商業化に移行しました。			
卵巣がん、腹膜がん、卵管がん(単剤またはレンバチニブとの併用療法)		日米欧	P I / II
201 試験	NCT04300556		

開発品コード: E7386		共同創出品 (PRISM BioLab)	
薬効／作用機序: 抗がん剤／CBP/ β -catenin 相互作用阻害剤		経口剤	
[概要] CREB-binding protein (CBP)と β -catenin のタンパク質-タンパク質相互作用を阻害し、Wnt シグナルに依存した遺伝子発現を調節します。Wnt シグナルに依存した腫瘍増殖の抑制を期待しています。			
固形がん(レンバチニブとの併用療法)		日米欧中	P I b/ II
102 試験	NCT04008797		
固形がん		日米欧	P I

開発品コード: H3B-6545		自社品	
薬効／作用機序: 抗がん剤／ER α 阻害剤		経口剤	
[概要] 経口投与可能な選択的エストロゲン受容体(ER) α 共有結合型アンタゴニストであり、野生型および変異型 ER α をともに阻害します。ER 陽性／HER2 陰性の乳がんに対する抗腫瘍効果を期待しています。			
乳がん(CDK4/6 阻害剤パルボシクリブとの併用療法)		米欧	P I b

開発品コード: E7766		自社品	
薬効／作用機序: 抗がん剤		注射剤	
固形がん		米欧	P I b

(3) グローバルヘルス

開発品コード: E1224 一般名: ホスラブコナゾール	自社品
薬効／作用機序: 抗真菌剤／エルゴステロール合成阻害剤	経口剤
[概要] 独立非営利財団 Drugs for Neglected Diseases initiative (DNDi) と、世界で最も顧みられない病気の一つであるマイセトーマ（菌腫）の内、特にアンメットメディカルニーズの高い真菌性菌腫（eumycetoma）に対する新規治療薬として共同開発を行っています。当社は非臨床試験および治験薬の提供などを担当しています。本剤のフェーズⅡ試験は、スーダンにて DNDi およびスーダンのハルツーム大学菌腫研究センターにより行われました。現在、スーダンにおける承認申請に向けた準備を進めています。公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）の助成を受けています。	

開発品コード: SJ733	共同開発品（ケンタッキー大学）
薬効／作用機序: 抗マラリア剤／ATP4 阻害剤	経口剤
[概要] マラリア蔓延地域での治療に適した、即効性と安全性に優れ、持続的な治療と再発防止を可能とし、現在問題となっている既存の抗マラリア薬への耐性を克服する薬剤となることを期待しています。ケンタッキー大学と共同研究を行っており、当社は原薬の提供と製剤製造を担当しています。本剤のフェーズⅡ試験は、ペルーにてケンタッキー大学により行われています。GHIT Fund の助成を受けています。	

開発品コード: E1018		共同創製品 (ブロード研究所)	
薬効／作用機序: 抗マラリア剤／タンパク質合成阻害剤		経口剤	
[概要] ブロード研究所との共同研究により見出された、マラリアを迅速に治癒し、マラリア原虫の伝播を断ち切ることでマラリアの再発を防ぐことが期待される化合物であり、当社がフェーズⅠ試験を実施しています。米国国防総省の助成を受けています。			
マラリア	米国		PⅠ

(4) 消化器

開発品コード: AJG555 製品名: モビコール配合内用剤		導入品 (Norgine)	
薬効／作用機序: 慢性便秘症治療剤／ポリエチレングリコール製剤		経口剤	
[概要] ポリエチレングリコール製剤により腸管内の浸透圧制御を行うことで排便を促す経口便秘薬です。日本において、2 歳以上の小児および成人の慢性便秘症の治療を適応として承認を取得しています。EA ファーマが開発しています。			
慢性便秘症 1 歳児の適応 (用法用量追加)		日本	申請 (2025 年 10 月)
CT3 試験	JRCT2031230142		

開発品コード: AJM347			自社品
薬効／作用機序: —			経口剤
炎症性腸疾患 (EA ファーマが ^g Ensho Therapeutics, Inc.と共同開発)	欧州		P I

開発品コード: EA1080		自社品
薬効／作用機序: —		経口剤
炎症性腸疾患 (EA ファーマが ^g Ensho Therapeutics, Inc.と共同開発)	欧州	P I

開発品コード:EA3571			自社品
薬効／作用機序:—			経口剤
代謝機能障害関連脂肪肝炎(EA ファーマが開発)	日本		P I

(5) その他

開発品コード: E6742		自社品	
薬効／作用機序: 全身性エリテマトーデス (SLE) 治療剤／TLR7/8 阻害剤		経口剤	
[概要] 自然免疫系の受容体である Toll 様受容体 (TLR) は、活性化により炎症反応や抗ウイルス応答を引き起こします。本剤は SLE の発症機序に関連しているとされる TLR7/8 の経口選択的阻害剤です。国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の医療研究開発革新基盤創成事業 (CiCLE) に採択されています。			
SLE		日中	P II
201 試験	NCT07515014		